

★薬食同源★

◆薬草以外の漢方生薬Ⅲ◆

太田 順康

動物生薬の中にはこんな物が薬になるのという、ゲテモノ的なものも多くあります。前に出て来たミミズ、マムシ、などもそうです。

△蟾酥(センソ) ヒキガエルの耳下腺、皮脂腺の分泌物を固めたもの。いわゆるガマの油。

強心作用があり、六神丸などに麝香、牛黄などと配合されている。蟾酥が十分配合されている六神丸は口に含むと舌がしびれるのですぐ判ります。

また鎮痛、止血に外用します。ガマの油売りの口上もあながち誇張では無いようです。

△穿山甲(センザンコウ) センザンコウ科のセンザンコウの甲羅片。

排膿作用、催乳作用に鱗片を焼いて粉末にして使います。排膿と催乳一見違った作用

ですが、腫れている所から白い液が出て来るのはどちらも同じです。東洋医学では膿もお乳も血から変化して出来たと考えています。



爪を出れたような臭いがして飲みにくいようですが、張ってこないお乳でも効果抜群です。

△露蜂房(ロホウボウ) アシナガバチ、スズメバチの巣、幼虫を伴ったものが良品だそうです。

穿山甲と同じく排膿、止痛、催乳に応用されています。取り過ぎると腎不全を起こすことがあるので内服は慎重にする必要があります。粉末や煎汁を外用するのが良いでしょう。

△紫河車(胎児の胎衣、胎盤を乾燥したもの)

精神安定に心神が消耗して恍惚となった者や、結核の咳、子宮出血の止血、生殖器の弱りに使われたようです。どう加工したら写真のようになるのでしょうか。



△桑螵蛸(カマキリの巣)

カマキリの卵塊に熱湯を注いで日光に当てて乾燥したものの。炭火で真っ黒に焼いて粉末にして用いる。

夜尿症に生姜湯で服用する。腎臓病にも良いと云われている。トゲが刺さって抜けない時は成虫の乾燥した粉末を傷口に塗っておくと簡単に抜けます。

カマキリを使わなくても甘草末を練って貼っておくだけで十分です。カマキリの乾燥末を作って保存するのは気持ちが良くないので。他にも赤とんぼ、あかがえる、虎の骨などがありますが、きりがないのでこの辺でこのシリーズは終了です。(つづく)

新刊!

太田先生の
「くらしの
薬草と漢方薬」

ハーブ・民間薬・生薬

B5版・総頁382頁
価格 3,300円+税

新日本法規出版



お知らせ

竜潭洞

すこやか教室 山歩き

☆8月は雨続きでした。足場が悪くなっていますので、山歩きは、第3週からとします。

19日(金) 26日(金) 10:30 ~

§漢方相談日

(担当 太田順康: 日本漢方交流会認定漢方終身師範、岐阜県漢方研究会会長、岐阜薬科大学「漢方学」講師)

今月の漢方相談日は、下記のとおりです。

8日(月) 25日(木) 29日(月)

§9月の休診日

15日(月) 敬老の日

§今年度の健診予定

お手元の受診券をご持参の上、お越しくささい。

◎特定健康診査: 6月1日~10月31日

<対象者>

- ・岐阜市国民健康保険加入者
- ・1939(昭和14)年11月1日

~1975(昭和50)年生まれ

◎ぎふ・すこやか健康診査:

9月1日~11月30日

<対象者>

- ・後期高齢者医療制度に加入の岐阜市民の方